

[ZJMR20234271592]

ManageEngine OpManager

OpManager 連携紹介

パトライト社製品との連携 連携製品：「NHV・NHB・NH-FB シリーズ」

ゾーホージャパン株式会社
2023年4月更新

■ 著作権について

本ガイドの著作権は、ゾーホージャパン株式会社が所有しています。

■ 注意事項

このガイドの内容は、改良のため、予告なく変更することがあります。
ゾーホージャパン株式会社はこのガイドに関しての一切の責任を負いかねます。
当社はこのガイドを使用することにより引き起こされた偶発的もしくは間接的な損害についても責任を負いかねます。

■ 商標一覧

記載の会社名、ロゴ、製品名の固有名詞は各社の商号、商標または登録商標です。

なお、本ガイドでは、(R)、TM 表記を省略しています。

目次

RSH で連携する場合の設定方法	2
NHV シリーズ側の設定	2
OpManager 側の設定	2
HTTP で連携する場合の設定方法	4
NHV シリーズ側の設定	4
OpManager 側の設定	4
その他連携可能機種	5

本ドキュメントでは、ManageEngine OpManager とパトライト社「NHV シリーズ」との連携手順についてご説明します。

NHV シリーズでは、RSH/PRSH/SSH や、HTTP/HTTPS などのコマンドの実行により制御を行うことが可能です。本ドキュメントでは RSH および HTTP コマンドによる制御について説明します。

RSH で連携する場合の設定方法

留意事項：RSH を検証したビルドは既に EOL となっていて、現在サポート中のビルドでは未検証です。RSH を使用される場合は、事前に評価版を利用して検証いただきますようお願いいたします。

NHV シリーズ側の設定

- (1) NHV シリーズ管理画面にログインします。
- (2) 画面左側の「RSH / SSH コマンド受信設定」リンクをクリックします。
- (3) RSH / SSH コマンド受信機能が有効になっていることを確認します。
- (4) RSH コマンド受信設定欄にて、必要に応じて「送信元アドレス指定」を有効にします。
- (5) RSH コマンド受信設定欄にて、RSH コマンドのオプションで必要になる任意の共通ログイン名（admin など）を設定します。(4)で「送信元アドレス指定」を有効にした場合は、送信元 IP アドレスごとにログイン名を設定します。

OpManager 側の設定

- (6) rsh.exe を OpManager\bin フォルダ配下に配置します。
例: C:\ManageEngine\OpManager\bin\rsh.exe
(PRSH をインストールしている場合には不要です)
- (7) OpManager にログインします。
- (8) [設定]タブ → [通知] → [通知プロファイル]リンクをクリックします。
- (9) [追加] → [プログラム実行]をクリックします。



メモ：

- 1：デフォルトでは、所定のコマンドは/Product-Home/binディレクトリから実行されます。
- 2：コマンドプロンプトで/Product-Home/bin/パスからの実行結果が、期待通り返っているかご確認ください

図：[設定]タブ・[通知]・[通知プロファイル]・[プログラム実行]画面

(10) プロファイル詳細設定欄にて次の設定を行います。

項目	設定内容
コマンド	rsh を入力します(絶対パスを指定します) (PRSH をインストールしている場合には prsh を入力します。)
プログラム引数	下記の RSH コマンドフォーマットに従い、<IP アドレス>以下の引数を入力します。上記の図を参照してください。

NHV シリーズを RSH コマンドで実行する場合のフォーマットは以下のとおりです。

rsh <IP アドレス> -l <ログイン名> <コマンド> [<オプション>]

実行できる主なコマンドは以下のとおりです。

コマンド	内容
alert	信号灯とブザーを制御します。
alert do	デジタル出力を制御します。
color	信号灯とブザーを制御します。
sound	信号灯と音声再生を制御します。
stop	音声再生を停止します。
clear	クリア動作を実行し、通常動作状態に戻します。

alert コマンド説明の説明は以下のとおりです。

概要	信号灯 (rygbc) やブザー (bz) を制御する。
書式	alert <r><y><g><c><bz> [<sec>]
返り値	<r><y><g><c><bz> (コマンド実行後の信号灯状態)

種類		値
r	赤色ユニット	点灯パターン 0:消灯
y	黄色ユニット	1:点灯
g	緑色ユニット	2:点滅パターン 1
b	青色ユニット	3:点滅パターン 2
c	白色ユニット	4:点滅パターン 3
		5:点滅パターン 4
bz	ブザー	ブザーパターン 0:非吹鳴 1:吹鳴パターン 1 2:吹鳴パターン 2 3:吹鳴パターン 3 4:吹鳴パターン 4 5:吹鳴パターン 5 9:変化なし
sec		制御時間 (秒) 0: 制御時間を指定しない (省略できます) 1~99: 制御時間を指定

以下はいずれも信号灯の IP アドレスが 192.168.10.10、ログイン名が admin の場合の例です。

(例 1 : RSH 192.168.10.10 -l admin alert 199999→赤色点灯、他は変更なし)

(例 2 : RSH 192.168.10.10 -l admin alert 991999 30→緑色点灯後、30 秒後に実行前の状態に戻る。他は変更なし)

(11) 設定が終わったら、[次へ]ボタンをクリックします。

(12) プログラムを実行する条件を設定し、設定した「通知プロファイル」を監視対象装置に関連付けます。これ以降の設定方法は、OpManager の操作マニュアルをご参照ください。

http://help.opmanager.jp/run_program_v12

HTTP で連携する場合の設定方法

NHV シリーズ側の設定

- (1) NHV シリーズ管理画面にログインします。
- (2) 画面左側の「コマンド受信設定」リンクをクリックします。
- (3) HTTP コマンド制御を有効にします。

OpManager 側の設定

- (4) OpManager にログインします。
- (5) [設定]タブ → [通知] → [通知プロファイル]リンクをクリックします。
- (6) [追加] → [プログラム実行]をクリックします。



図： [設定]タブ - [通知] - [通知プロファイル] - [プログラム実行]画面

(7) プロファイル詳細設定欄にて次の設定を行います。

項目	設定内容
コマンド	curl コマンドで HTTP リクエストを入力します。
プログラム引数	下記の HTTP コマンドフォーマットに従い、引数を入力します。 上記の図を参照してください。

NHV シリーズを HTTP コマンドで実行する場合のフォーマットは以下のとおりです。

`http://<信号灯の IP アドレス>/api/<コマンド>?<パラメータ>=<値>[&<パラメータ>=<値>][&<パラメータ>=<値>]`

実行できるコマンド一覧は以下のとおりです。

コマンド	内容
control	パラメータで指定された要求に従って信号灯を制御します。
status	パラメータで指定された要求に従って信号灯情報を返します。

実行できる主なパラメータ一覧

パラメータ	値	内容
alert	<r><y><g><c><bz>	r:信号灯 赤 y:信号灯 黄 g:信号灯 緑 b:信号灯 青 c:信号灯 白 bz:ブザー 信号灯とブザーを制御します。 点灯パターン 0:消灯 1:点灯 2:点滅パターン 1 3:点滅パターン 2 4:点滅パターン 3 5:点滅パターン 4 9:変化なし ブザーパターン 0:非吹鳴 1:吹鳴パターン 1 2:吹鳴パターン 2 3:吹鳴パターン 3 4:吹鳴パターン 4 5:吹鳴パターン 5 9:変化なし
led	<r><y><g><c>	r:信号灯 赤 y:信号灯 黄 g:信号灯 緑 b:信号灯 青 c:信号灯 白 信号灯を制御します。 0:消灯 1:点灯 2:点滅パターン 1 3:点滅パターン 2 4:点滅パターン 3 5:点滅パターン 4 9:変化なし
sound	<ch>	音声再生を制御します。 1~71:音声チャンネル

以下はいずれも信号灯の IP アドレスが 192.168.10.10 の場合の例です。

(例 1 : curl http://192.168.10.10/api/control?alert=199999→赤色点灯、他は変更なし)

(例 2 : curl http://192.168.10.10/api/control?sound=71→信号灯にセットされている 71 番目のチャンネルを再生)

(例 3 : curl http://192.168.10.10/api/control?led=99199&sound=31→緑色点灯、他の LED ユニットは変化なし、同時に信号灯にセットされている 31 番目のチャンネルを再生)

(8) 設定が終わったら、[次へ]ボタンをクリックします。

(9) プログラムを実行する条件を設定し、設定した「通知プロファイル」を監視対象装置に関連付けます。

これ以降の設定方法は、OpManager の操作マニュアルをご参照ください。

http://help.opmanager.jp/run_program_v12

その他連携可能機種

NH-FB シリーズ

NHB シリーズ

*基本的に RSH や HTTP コマンド受信機能をサポートする機種は、上記手順にて連携できます。

以上